

第 1989 回例会(平成 25 年 1 月 22 日)

会長挨拶

石上 明宏

皆さん今晚は、本日は恒例となりました銚子ロータリークラブと銚子東ロータリークラブとの合同例会です。今回は東クラブが担当ですので、私の方から会長挨拶をさせていただきます。



先週の 17 日に第七分区の会長幹事会がありその帰りの車中、大里会長と会員増強の件でお話しさせていただきましたが、候補者は何人もいてアプローチもしているけど、なかなか結果に結びつかないですね、と話していました。思い返せば半年前、年度が変わる直前の両クラブ引き継ぎの正副会長幹事会で、会員増強についてお話が出ました。その席上、銚子クラブさんは次年度幹事の宮内秀章さんが委員長で、我東クラブは、直前幹事の黒田さんが委員長。両クラブの増強委員長が同席していたのもあり、良い意味で競い合いましたよと、大里会長から言われた事を思い出しました。

ここ数年で両クラブの女性会員が増えたこともあり、今回は女性に的を絞って、活躍している女性の方から卓話を頂こうと 12 月に行われた両クラブの会長幹事会で話が出まして、銚子クラブ会長エレクトの宮内榮さん、また当東クラブの会長エレクト宮内博さんからのご推薦で、千葉北ロータリークラブの会長エレクトであります大谷京子さんが相応しいのではとの事になり、ご依頼したところ快諾して頂き、お忙しい中、本日お越し頂きました。

また、女性という観点から東京商工リサーチが所有する 245 万社 (去年 9 月時点) の代表者データから、女性社長のデータを抽出したものとすると、全国 245 万社のうち女性社長は 26 万 4,445 人で約 9.3 人に 1 人の割合となり、また前年同月では 24 万 3,632 人で、前年度対比 109% で年々女性社長が増えているとのことでした。

そのような中、本日お越しの大谷様は地元では勿論の事、地区の方でも活躍しており、前年度はインターアクトの委員でもありました。会社は株式会社オーケー光学で偏光レンズ加工メーカーです。大谷さんが代表取締役を務めるオーケー光学は、常に挑戦、前進をしつづけるために何事にも積極的に取り組むチャレンジ精神旺盛な企業だそうです。後程、大谷様から卓話を頂きますが、ロータリーの話や職業の話、また女性ならではの話等、いろいろ拝聴できると思います。少しでも両クラブの新たな会員増強の一助になればと思います。

最後に年度当初銚子クラブに就任挨拶に行った時にも言わせて頂きましたが、上半期はありませんでしたし、下半期も無いとは思いますが、もし万が一新会員のアプローチ中にバッティングすることがありましたら、寛容な気持ちと親心で譲って頂けると有難く存じますので宜しくお願い致します。本日合同例会の会長挨拶とします。

幹事報告

1・ガバナー事務所より

- ・ハイライトよねやま 154
- ・クラブ奉仕委員会セミナー資料送付のご案内
- ・日本人親善朝食会のご案内
- ・ロータリー補助金ニュース 受領
- 2・ガバナーエレクト 関口徳雄様より
- 2013-14年度R I テーマ 受領
- 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」
- 3・例会変更のお知らせ
- 小見川RCより 受領
- 1/23(水) 点鐘 12:00 「香取神宮」 移動例会の為

卓話

「なんとかなるさ～私と仕事とロータリー～」

(株)オーケー光学 代表取締役大谷 京子 氏

みなさんこんばんわ。千葉北ロータリークラブの大谷京子と申します。本日は銚子ロータリーと銚子東ロータリーの合同例会の卓話ということで私の卓話でいいのだろうかと思いますが、



せつかくいただいたお話ですので頑張ります。基本的に人と会話をするのは得意なのですが、人の前で一方的に話すのはこう見えてとても苦手です。しかしだからこそ普段から人前で話す機会があったらできるだけ挑戦してみようと思っています。

今日は私のこれまでの人生・仕事・ロータリーについて話していこうと思います。ただただ楽しい時間にしたいいと思いますので聞いてください。

名前は大谷京子と申します。1972 年 2 月生まれで現在 40 歳 ちょうど私が産まれたころ「あさま山荘事件」があったそうです。家族は母と私と弟の 3 人家族です。そしてこの地「銚子」は母の故郷です。芦崎町です。小さい頃から銚子にはときどき来ていてかなり馴染みある場所なのです。

私のことを話したいと思いますが、私は千葉市で普通の小学校・中学校・高校・専門学校と進学しました。いつもいつも元気で明るいと言われますが、学生時代全く目立たないタイプでした。今でも自分の性格はと聞かれてネクラなのと言うのですが誰も信じてくれません。とても活発に見られますが運動はまったくのオンチで何をやらせても上手にできませんね。だからといって勉強が出来たわけでもなく文武両ダメです。ただ働くということに関しては大好きで、学生のアルバイト時代から完全に「仕事人間」でした。

学校を卒業して私は京成トラベルという旅行会社に就職しました。旅行会社でも楽しく働き「休みなんかなくていいのに」と思うくらいエンジョイしていました。ずっとここで働いて女性初の所長になろうか思っていました。ところが働き初めて 5 年目の 24 歳のある日。私の人生が変わる大事件が起きたのです。当時、父は仲間と英会話教室に通っていました。英会話もさながらその

帰りに仲間と飲むお酒が楽しくて行っているとみんなには言われてましたけど。その日も仕事のあと英会話に行きお決まりコースの居酒屋でビールを頼んだようです。その飲み屋さんのトイレで倒れてそのまま亡くなってしまったのです。父 54 歳私 24 歳の時でした。劇症くも膜下出血で即死だったそうです。

その夜から悲しんでる間もないくらいバタバタな日が続きました。父は完全にワンマン社長で何から何まで自分でやっていて、母はそのサポートでちょっと経理のお手伝い程度しか関わっていませんでした。母は亡くなってから数日ずっと「借金いっぱいあるのにどうしよう」そればかり言ってました。弟はまだ学生で私は本当に困りました。しかしあの日、私は霊安室で父を見たとき父の亡骸が「あとはお前に任せよう」と言っている気がしたのです。「会社をたたむ」ということは全く考えもありませんでした。すぐ親族と話しとりあえず母を社長に続けていく決断をしました。

生前父はよく「俺が作った会社なんだから俺の代で終わらせてもいいんだ」とよく言っていました。きっともし父が病気で弱っていついたなら会社は終わりにすると言っていたと思います。しかしながら、当時の私たちは会社や業界や世の中の状況はあまりよくわからず、とにかく置いていかれた方としては「父の作った会社を潰すわけにはいかない」と思い、とりあえず母を社長にして続けることにしました。今思えば“やめるならあの時だった”んですね。あの時続けたということはずっと続けていかなければならないんですね。みなさんもうちの父のように「自分の代で…」なんて思ってる方がいらしたら是非ご自分で終わりにしてからあの世に行ってくださいね。残された者のことも考えてくださいね。

それから 6 年近く母が社長をやっていました。父が亡くなってしばらくはお得意様も協力的でどうにか会社を無事継続していました。しかし時が進むにつれお客様も厳しいことを言いますし品質的にも厳しい物を要求されるようになると、母はだんだんいつも下を向いていて笑わなくなってしまったのです。“今、病気になられたら会社も家もどうにもならなくなる”と思い、私は親戚一同に「私が社長を交代する」と言いました。31 歳で社長になり現在弟が専務として一緒に働いています。

当社の仕事はサングラスのプラスチックレンズの球面加工というのがメインで、主に日本のブローカーさんと小さな商社を通して海外（主にアメリカ）に輸出しています。若くしてしかも女で社長になった訳ですが、幸い海外のお得意様は会社の規模や年齢・性別などをあまり気にしません。そして国内のお得意様もそういう海外のお客様を相手にしている方達なので、あまり女性とか年齢とかで苦勞をしたことはあるかもしれないけど覚えてません。

とは言え社長になってからの約 10 年、本当にいろいろなことがありました。会社としても私としても未熟でいろいろなことに巻き込まれたりトラブったりいいように会社を使われたりと、よいことも悪いことも本当にたくさんありました。景気も業績も何年も最悪で「どうす

ればいいのか」と仏壇に文句を何度言ったことか。それでも父から返ってくる言葉は「お前に任せただから自分の思った通りにやりなさい。」だったのです。両親は小さな頃から弟を箱入りで私を放任で育てました。私には「人の前で泣くな。泣くときは一人で泣け。」とか「辛い時こそ笑っていなさい」とかそんな感じに育てました。ちなみに弟は「困ったときはお姉ちゃんにいいなさい」という感じです。すすくと素直に育ち 本当に辛かった数年間どんな時も私は明るく元気に過ごしました。良いのか悪いのか、業績が最悪の数年の間も銀行さん以外は従業員も含めお得意様にも「儲かっている会社はいいね」とよく言われました。事実とは違うのですからこの言葉を言われるのが本当に嫌でした。経営状況を分かる経理士さんや銀行の支店長には「そのモチベーションをよく維持できますね」とよく感心されたものです。人は見かけが 9 割と言いますが残りの 1 割をよく見ないとわかりませんよ。今ではいつも明るく元気であることが私の社長としての一番の仕事だと思っています。

ここでやっとロータリーの話になりますが、私は 30 歳で入会し現在 10 年ちょっとたちます。元はといえば顧問の税理士さんが母に入会を誘いにきたのですが「私が入りたい」と言って入会しました。「ロータリーにも良い人も悪い人もいる。人を見抜く力を見つけてください」と言われたのです。これを入会直後のガバナー公式訪問、しかも合同例会で話して当時のガバナーにびっくりされました。それから何度か情報研究会や IM でスピーチをして千葉市近郊の皆さんを驚かしました。そんな突拍子もない私がなぜロータリーを続けているかというそれは、・人間が好きなこと・いろんな面白い人に会えること・救いの 1 言をもらえること、です。ロータリーの例会は毎回楽しいものとは限りません。しかも気が合う人ばかりでもありません。でも毎週会っているからこそその関係であると思います。そしてどんな人でも私にとってはロータリーの仲間なのです。

私はこれまで何度もいろいろなことに打ちのめされてきました。でも必ずどんな時も誰かが助けてくれたのです。友達・お得意様・ロータリアン・嫌いな人などいろいろな人です。それは行動で助けてくれたとかではなく、誰かのちょっとした一言に救われてきました。それはほかの人にとっては何でもない一言ですが、テンションが下がっている私には一瞬で考え方が変わる救いの言葉だったのです。

よく女性ロータリアンとしてアドバイスをとか言われますが、ロータリーのような男性社会に出てくる女性は男っぽい方が多いと思います。女性メンバーとか男性メンバーとかで考えるのではなく、ロータリーの仲間として普通に対応していただければいいのではと思います。そんな私ですが、来年千葉北ロータリーの会長をやります。周りは期待半分心配半分ですが私は“なんとかなる”と思っています。

始めにも言いましたが、とにかく人生生きていけば何が起きようが絶対になんとかかなると思っています。何事もどうせやるなら良いことも悪いこともみんなまとめて

楽しんでしまえと思っています。ただうまくいかないと思いますが、そんなときはきっと誰かの魔法の一言が助けてくれると信じています。そして私自身も誰かを救えるような人間になれるように魔法の笑顔と元気をバラマキます。こんな私ですがこれからもよろしくお願ひします。

合同例会懇親会



臨時理事会開催及び持回り決議 議事録

日 時 平成 25 年 1 月 22 日 (火) 13 : 10
通知方法 事務局よりファクシミリにて送信
議 題
1・2 月例会スケジュールの件 承認

2 月例会スケジュール

第 1 例会 2 月 5 日
卓話「翔天の詩を巡って」 堺 敬生 氏
第 2 例会 2 月 12 日
卓話「改正高齢者法の実務対応について」
多部田社会保険労務士事務所 所長 多部田 剛 氏
第 3 例会 2 月 19 日
卓話「未定」佐野 幸雄 会員
第 4 例会 2 月 26 日
卓話「未定」銚子税務署 署長 荒川政明 氏

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること；
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

前 回 の 例 会 (1/22) 報 告

点 鐘 石上 明宏 会長

出席報告
 会員総数 39 名 出席規定除外数 7 名
 出席者 39 名 出席率 100 %
 1月8日 確定出席率 73.68 %

来訪ロータリアン
 大谷京子氏 (千葉北RC)
 有村俊一郎君 越川信一君 宮崎裕光君
 小田島国博君 岡根清君 坂本尚史君
 杉山俊明君 高瀬幸雄君 (銚子RC)

欠席者 なし

メークアップ
 石毛君 川津君 宮川君 宮内(博)君 森君 (1/23銚子RC)
 石上君 黒田君 宮内(博)君 (1/26地区クラブ奉仕セミナー)

スモールコイン BOX **累計 ¥ 52,626-**
 ニコニコBOX **累計 ¥303,300-**

銚子東ロータリー・クラブ 銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789
 メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>
 例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室
 会長 石上 明宏 副会長 宮内 博 幹事 藤崎 一成
 R. I 第2790地区 クラブ広報・会報委員会 川津 光雄・福田 昭浩・平野 恭男・杉浦 武
 表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ 古帳庵
 江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに
 詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。